

巻頭言 『失望に終わることのない希望』 [P.1](#)

特集

冬休みの課題 厳選10論点 ～この大切な期間を逃すな!～

財務会計論 (計算)

[P.3~5](#)

財務会計論 (理論)

[P.6~8](#)

管理会計論

[P.8~11](#)

監査論

[P.11~13](#)

企業法

[P.13~15](#)

租税法

[P.16~19](#)

経営学

[P.19~21](#)

経済学

[P.21~23](#)

民法

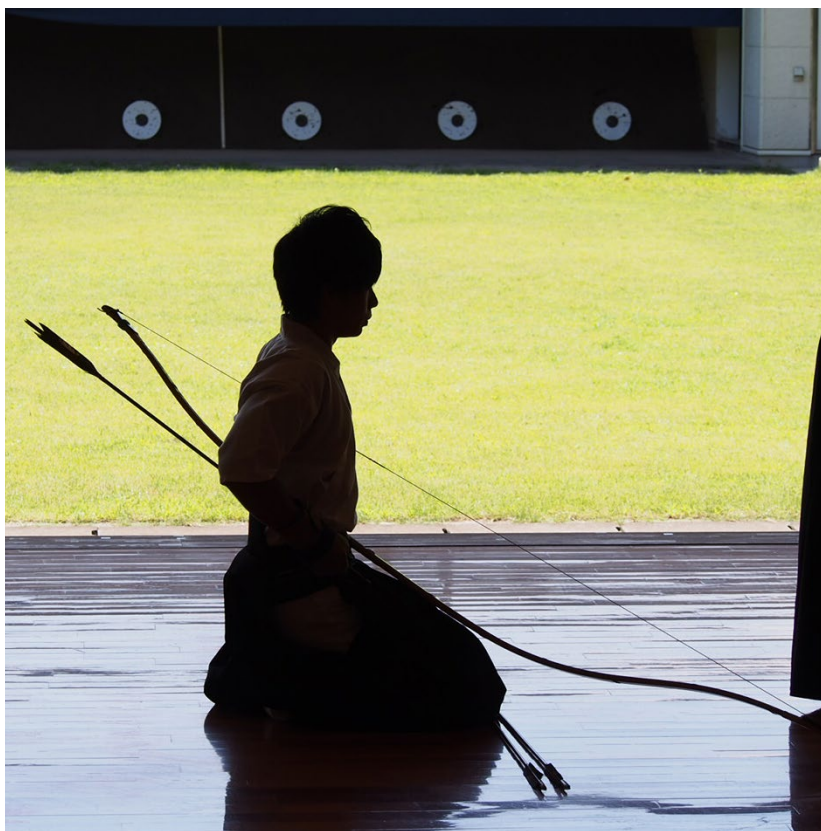
[P.23~25](#)

統計学

[P.26~27](#)

就職・転職のことなら、多くの法人との信頼関係を築いてきた

『大原キャリアスタッフ』 [へ](#)



『失望に終わることのない希望』

長く厳しい受験勉強の中では、時には希望を失うことがあるかもしれない。そんな時には、うつむかずに顔を上げよう。希望は決して失望に終わることはない。

私の心の中に強く印象に残っている受講生がいる。最初に目についたのは、入門講義時の教室での姿勢である。教室の前方の席に座り真剣に講義を受ける表情が教壇からも大変印象的であった。また講義の休憩時には一心に計算問題に取り組んでいた。それ以来、本試験でなかなか良い結果が出ないことが続いても彼の姿勢は崩れなかったが、教室で目にする彼の表情が辛そうに見えることが何度もあった。彼の書く答案からは努力の跡とともに、自分への苛立ち、勉強への倦怠が色濃くにじみ出していた。講師は、頑張っている者に頑張れとは言えない。ありきたりの励ましは口にできなかった。ただ、彼が自分を信じきれなくても、私は彼を信じ続けたいと思っていた。

今年の本試験の受験を終えた彼と話す機会があった。「上手く書けないところもあったし、合格している自信はない。でも現時点での自分の力は出し切れた」と語る彼の口ぶりが本当にすがすがしく、以前の彼の表情とは全く対照的だったことが強く印象に残っている。私はその時、彼の今年度での最終合格を予感した。

最難関の会計士試験に挑むときには、その壁の高さに何度も怯むこともあるだろう。先の見えない不安を覚えることもあるし、無限の繰り返しと思えることに気持ちが押しつぶされることもある。今、ここでもう一度顔を上げて前を見よう。いつでも誰でもどんな状況でも必ず希望を見出すことができる。

[目次へ](#)

特集

冬休みの課題 厳選10論点

～この大切な期間を逃すな！～

いよいよ冬休み（年末年始休暇）がやってきます。年末年始の学習プランはもうお決まりですか？ これまで、講義の復習や演習が忙しく、年末年始ぐらいは「ちょっと一息…」とお考えの方もいらっしゃるでしょう。確かに、大晦日と元旦ぐらいは、慌しく電卓を叩くのではなく、1年の振り返りと新年の誓いに思いを巡らしていただいてもよいでしょう。しかし、2週間というまとまった時間がとれる年末年始だからこそ、メリハリをしっかりとつけ、効果的に過ごしたいものです。

そこで本号では、各科目の担当講師から、年末年始を活かす学習上のアドバイスと「年内の到達レベル」、この時期に押えておきたい「厳選10論点」をお届けします。在籍されるコースにより、カリキュラムの進行が異なるため、科目ごとにその点も踏まえたアドバイスをさせていただきます。講師のアドバイスにしたがって、ぜひ有意義な冬休みをお過ごしください。なお、以下のアドバイスについて、受験年の断りが特にないものは2023年受験生を対象としています。

目次へ 

財務会計論（計算）

東京水道橋校

瀧本祐和



2024年受験2年・1.5年オータムコース生の方へ

①年内の到達レベル

財務会計論（計算）は、短答式試験、論文式試験の最重要科目です。財務会計論（計算）の実力を高めるためには、まず問題を繰り返し解くことが必要です。年末年始は、多くの方にとって、まとまった時間のとることができる絶好の機会です。この機会に問題を繰り返し解き、実力の向上を図っていきましょう。復習の中心となる教材は「問題集」です。講義の進捗に合わせて問題集を着実に解いてきた方は、テキストを見なくても完答できるレベルを目指しましょう。問題を繰り返し解き、知識の定着を図ってください。学習が順調でない方は、ペースを取り戻す絶好の機会です。学習済みの範囲の基礎問題を中心に取り組んでいきましょう。

②厳選10論点の学習方法

コースにより、まだ学習していない内容も含まれておりますが、既に学習済みの内容で苦手論点がある方は重点的に復習をしておきましょう。また、学習が順調ではない方は厳選10論点に捉われずに、ペースを取り戻すことを最優先にしましょう。

目次へ 

2023年受験生すべての方へ

①年内の到達レベル

財務会計論（計算）は最重要科目です。加えて、ボリュームも非常に多いため、知識の抜けも生じやすいです。厳選10論点の中に苦手論点がある方は、この機会に克服しましょう。目標到達レベルは、ステップ演習を何も見ずに解答できるレベルです。解答・解説を参照しても、解けない問題がある場合には、必要に応じてテキストに戻って確認していきましょう。

②厳選10論点の学習方法

各論点について、知識の漏れがないかどうかを確認するとともに、体系的な理解を心がけてください。

■厳選10論点：財務会計論（計算）

復習テーマ	学習の指針
有価証券	有価証券の分類と評価を中心に、問題集を繰り返し解答してください。余力のある方は、本試験問題編にもチャレンジしてください。
リース取引	借手の会計処理、貸手の会計処理ともに問題集を繰り返し解答してください。余力のある方は、本試験問題編にもチャレンジしてください。
固定資産の減損	基本的な処理の流れを理解するとともに、テキストの例題で紹介している論点は早めにマスターしておきましょう。

目次へ 

退職給付	基本的な処理の流れを理解するとともに、退職給付引当金勘定の内訳（下書き）をすらすらと書けるように準備しておきましょう。
純資産	新株予約権やストック・オプションも含め、テキストで紹介している論点について高い精度で解答できるようにしてください。
税効果会計	構造の理解と集計力が求められます。問題集を繰り返し解くなどし、下書きを確立しておきましょう。
外貨建取引	外貨建取引のみならず、外貨建有価証券の期末評価や為替予約の会計処理など、使うべき為替相場を正確に押さえておきましょう。
連結会計	資本連結（段階取得、子会社株式の追加取得、一部売却）、成果連結（未実現利益の消去、未達取引）、持分法、税効果会計を中心に学習しましょう。
企業結合・事業分離	企業結合（取得、共通支配下の取引）、事業分離（受取対価が分離先企業の株式のみの場合、受取対価が現金等の財産のみの場合）を中心に学習しましょう。
キャッシュ・フロー計算書	個別CF・連結CFともに基本的な作成方法を確認しておきましょう。



初学者コース生および上級コース生の方へ

①年内の到達レベル

12月の短答式試験も終わり、いよいよ本格的に論文対策に取り組む時期となりました。論文対策で使用する教材は、「テキスト」と「問題集」です。公認会計士・監査審査会より公表されている「出題範囲の要旨」に示された項目のうち、論文式試験における重点的出題項目（テキスト目次に「★」が付されている項目）を中心に学習を進めてください。法規集掲載論点については、本試験で配付される参考法令基準等から除かれる部分（「前文」や「背景」に記述されている論拠や考え方など）を押さえましょう。問題集の〈本編〉に収録されている論点は、テキストで学習した項目のうち論文対策に必要な主要論点であり、確実に得点できるように繰り返しインプットを行う必要があります。論文基礎演習の実施期間中に問題集（無印の論点）を1回転させる（暗記する）ことを目標としてください。

年内の到達レベル（冬休み期間中の課題）は、下記の厳選10論点のうち、論文基礎演習第1回もしくは第2回までの範囲を解答できるように暗記することです。初学者の方は租税法と選択科目の学習を優先してもかまいませんが、論文基礎演習の出題範囲にあわせて、問題集の暗記もできるだけ進めるようにしてください。

[目次へ](#)

②厳選10論点の学習方法

まず、テキストを読んで講義で学習した内容を思い出し、次に、問題集を利用して暗記（一言一句丸暗記ではなく、キーワード中心が良い）の作業を繰り返し行ってください（インプット）。また、問題集の解答を実際に書けるようにしてください（アウトプット）。

なお、問題集の解答を見てわからない箇所がある場合は、必ずテキストに戻り、図表の数値例や講義のメモ書き等を確認しましょう。

■厳選10論点：財務会計論（理論）

復習テーマ	学習の指針
概念フレームワーク	財務報告の目的と自己創設のれん、包括利益と純利益
利益概念	当期業績主義と包括主義
棚卸資産	原価法と低価法、簿価切下げの考え方、切放し法と洗替え法
純資産	自己株式（資産説と資本控除説）、新株予約権（表示）
金融商品	リスク・経済価値アプローチと財務構成要素アプローチ、金融資産の評価
ストック・オプション等	公正な評価単価（算定の基準日）、失効した場合、条件変更
退職給付	数理計算上の差異（遅延認識の論拠、重要性基準と回廊アプローチ）
固定資産の減損	時価会計との相違、認識、測定、戻入れ

目次へ 

連結財務諸表	親会社説と経済的単一体説、のれんと負ののれん、包括利益（有用性）
外貨換算	外貨建資産・負債の換算、在外支店と在外子会社の財務諸表項目の換算

管理会計論

東京水道橋校

水野悦之



2024年受験生の方へ

①年内の到達レベル

計算力（正確性・迅速性ともに）のレベルアップがこの時期には必要です。講義を受けていただいた範囲について、まずは基礎問題編から、次いでまとめ問題編と、繰り返し問題集を解いて、実力の向上を図りましょう。少し学習の遅れを感じられている方も、この時期は取り戻すチャンスです。一つ一つ論点を消化してまいります。

②厳選10論点の学習方法

10論点の中から学習済みの範囲について、苦手意識のある論点について、特に重点的に学習をしておきましょう。

2023年受験生すべての方へ

①年内の到達レベル

計算力（正確性・迅速性ともに）の維持と、読解力のレベルアップを目標にしましょう。

計算力という面では、これまで練習量を多くとって

目次へ



きていれば問題ないでしょう。過年度実施の論文式演習や、これまでのステップ演習を繰り返し解くことで、計算力を維持してください。特に苦手論点、復習を避けていた論点について、レベルアップを図りましょう。

また、論文式試験を見据えた場合の読解力（問題の流れを読み取り、何を問いたいのかを理解する力）に磨きをかけるため、テキストを読み返しましょう。タイトルをみて、各論点についてイメージがつくかどうか、確認するとよいでしょう。とくに管理会計の分野においては、①目的、②特徴（長所・短所）、③登場の背景をしっかりと押さえましょう。その上で、過年度の論文基礎演習などを通じて、問題に対応する力を身につけていくことが望ましいです。

②厳選10論点の学習方法

問題を解く際には、まずは時間を気にせず丁寧に資料を読みながらじっくりと解き、次に同じ問題を解く際に、自分で設定した制限時間（どれだけの時間で解けるかを考えて設定）を意識しつつ解くようにしてください。計算問題の中には、機械的に解答すべき箇所がありますので、この点は練習でクリアしましょう。その上で、計算の背後にある理論を、単なる丸暗記ではなく『～だから。』という自分の言葉で言えるように仕上げていきましょう。もちろん、難解な論点で最後は丸暗記に頼ることもありますが、現段階では、基本的な論点をしっかりと仕上げることに注力しましょう。問題文を読んで、どのような状況かをイメージできるようになることは、スピードアップにもつながります。

目次へ 

■厳選10論点：管理会計論

復習テーマ	学習の指針
部門別計算	第二次集計を中心に計算と理論を結びつけてマスターする。特に補助部門費の配賦基準と配賦金額は、理論を意識しながら、問題を解く。
個別原価計算	原価計算表と仕掛品勘定の関係や、仕損費や作業屑の計算・処理について、計算方法をマスターする。
総合原価計算	仕損費の計算・処理方法及び工程別計算、また等級別計算等の各種計算方法をマスターする。
標準原価計算	標準原価カードの作成、仕掛品勘定の記載、原価差異分析や原価差異の処理を中心に、計算方法をマスターする。
CVP分析・ 予算管理	問題集レベルの典型的な問題を中心に、計算方法をマスターする。予算管理については、予算実績差異分析を中心に確認する。
業務的 意思決定	問題集レベルの典型的な問題を中心に、計算方法をマスターする。各問のおかれた状況（代替案）を把握し、差額原価と埋没原価の違いを意識する。
戦略的 意思決定	問題集レベルの典型的な問題を中心に、計算方法をマスターする。プロジェクトの評価方法とキャッシュ・フローの把握が正確に出来るようにする。

目次へ 

事業部制会計	事業部P/Lの作成、業績評価、内部振替価格等のテキストの例題レベルの基本的な問題を中心に、計算と合わせて理論的な背景をおさえる。
原価企画・ 原価改善	定義、登場の背景をおさえる。また、目標原価の計算を問題集レベルの典型的な問題を中心にできるようにする。
活動基準原価 計算	問題集レベルの典型的な問題を中心に、計算方法をマスターする。部門別計算との比較・登場の背景・意義等をおさえる。

監 査 論

東京水道橋校

栗田 篤



初学者コース生及び上級コース生の方へ

①年内の到達レベル

年明けから実施される論文基礎演習の範囲に合わせて、全範囲の確認をしていただきたいため、まずは、そのための計画を立ててください。今の時期は、特定の分野の学習をするのではなく、全範囲を確認するのが望ましいです。その際に用いる教材は、①テキスト及び②問題集又はポケットコンパスです。そして、決定した計画に従って、学習を進めていただければ問題ありません。多くの方は、年内は論文基礎演習第2回までの範囲の学習ができれば十分ではないでしょうか。

目次へ 

ポケットコンパスは、問題集に掲載されている問題の内、より基本的な問題を掲載しております。よって、基本的には問題集で学習していただければ問題ありませんが、移動中に小さい教材で学習したい方等は、ポケットコンパスを使用していただければよいでしょう。

②厳選10論点の学習方法

下記、10論点の内、上位6テーマ（売上、売上債権等～継続企業）については、過去10年間の論文式本試験で2回以上出題されている分野となります。また、下位4テーマ（その他の記載内容～）については、上位6テーマ以外で、論文式試験で論点になる可能性が高い分野及び法令基準集との兼ね合いで準備を怠れない分野を挙げています。よって、全範囲を確認する過程で強弱をつけたい方は、参考にしてください。

■厳選10論点：監査論

復習テーマ	学習の指針
売上、売上債権等	確認、分析的手続について、問題集（p.48～49、p.58～73）を確認する。
リスク・アプローチ（改訂理由）	平成17年改訂の監査基準の改訂理由について、問題集（p.82・83）を確認する。
リスク・アプローチ（リスクの識別）	問題集（p.86～93）を確認する。
監査上の重要性	問題集（p.112～118）を確認する。

監査報告論	監査報告書の記載の記載理由、監査意見の種類とそれぞれが表明される状況を中心に、問題集（p.140～151）を確認する。
継続企業	問題集（p.174～185）を確認する。
その他の記載内容	問題集（p.165）を確認する。
追記情報	追記情報を記載する条件を確認し、それを用いて、追記情報を記載する理由を説明できるように、問題集（p.153～164）を確認する。
四半期レビュー	問題集（p.188～192）を確認する。
内部統制監査	問題集（p.198～210）を確認する。

企業法

東京水道橋校

鴻巣一樹



短答免除者、12月短答の感触が良かった方等、論文対策の学習に特化できる方

①年内の到達レベル

計算科目はほぼ仕上がったことと思います。これからは理論科目にもかなりの時間を割いて学習すべき時期です。基礎演習が始まるまでに、短答式試験の勉強の際にあまり勉強しなかったテキストの論点部分を一通り確認しておきましょう。また、過年度合格者で基

[目次へ](#)

本的な知識が抜けてしまっている方は、テキストを使って、抜けてしまった知識の補充が必要になります。演習が始まったら、毎回の出題範囲に合わせて、テキストであらためて知識を確認し、かつ、問題集のロジカルフローを再現できるぐらいにしてから演習を受けるようにしてください。

②厳選10論点の学習方法

下記の10論点については、最低でも問題集のロジカルフローを再現できる程度まで仕上げるよう努めてください。10論点全部を仕上げる事ができれば理想的ですが、他の科目との兼ね合いもあると思いますので、一つでも多くの論点を仕上げるよう頑張りましょう。

12月短答の感触が芳しくなかった方

①年内の到達レベル

計算科目の完成が遅れているようでしたら、計算科目に時間をかけざるを得ませんが、企業法にもある程度の時間を割くようにしてください。企業法については、とにかくテキストを使って基本的な知識を徹底的に復習しておきましょう。問題集に入るのは、それができてからです。

②厳選10論点の学習方法

前述のように、テキストを使って基本的な知識を徹底的に復習する必要がありますが、全範囲が厳しいようであれば、10論点を中心に基本的な知識を確認するようにしてください。

■厳選10論点：企業法

復習テーマ	学習の指針
株式	名義書換、譲渡制限株式、自己株式取得、株式併合・分割、株式等売渡請求
株主総会	株主の議決権の代理行使、説明義務、利益供与
取締役	競業避止義務、利益相反取引、報酬、対会社責任・対第三者責任
代表取締役	代表権の制限、表見代表取締役、権限濫用
監査役	監査役の権限、監査役の独立性
会計参与、 会計監査人	会計参与と会計監査人
その他の機関設計	監査等委員会設置会社の機関構造
新株（予約権）発行、社債	新株（予約権）発行差止請求、新株（予約権）発行無効の訴え、社債権者の保護（社債管理者等）
資本金・準備金・ 剰余金	資本金の額の減少、違法配当
その他	株式会社と持分会社の比較

[目次へ](#) 

租税法

東京水道橋校

福田 幹



租税法は、本試験での出題を見ると全体の6割は計算問題です。中でも、法人税の計算問題が中心ですので、まずは法人税の計算問題で得点できるようになっていただきたいと思います。また、所得税もその計算構造（各種所得の金額～納付税額までの流れ）及び所得区分（何所得に該当するのか）の基礎的内容を中心に押さえるようにしましょう。さらに、消費税もその計算構造（納税義務の有無の判定～納付税額までの流れ）及び取引の区分（7.8%課税取引・輸出免税取引・非課税取引・課税対象外（不課税）取引）を中心に押さえるようにしましょう。なお、本試験での出題の4割は理論ですが、計算の内容がある程度解っていることが、今後理論の学習をする上でも重要となります。

次に、年内の到達レベルと復習ポイントを、上級コースの方（租税法の学習経験のある方）、初学者コースの方（租税法の学習が初めての方）に分けて述べさせていただきます。

上級コース生の方（租税法の学習経験のある方）

①12月短答前の経験者向け講義受講の方と短答免除者の方

計算問題（法人税問題集、所得税及び消費税テキスト問題）を中心に復習していきましょう。そこで解らない箇所が出てきたら、テキストに戻って確認するこ

目次へ 

とが重要です。また、所得税及び消費税も含めて苦手な論点がある方は、それに特化して復習してみるのも効果的だと思います。

法人税の基礎的問題では、常に7割以上を到達レベルと考えてください。

②12月短答後の経験者向け講義受講の方

短答式試験終了後、すぐに講義が始まり週2回程度のペースで進んでいきます。各回の講義後、その講義ごとの問題集の該当問題を必ず解答するようにしてください。年内で学習する交際費等、減価償却、租税公課及び納税充当金、受取配当金、寄附金などは重要項目です。冬休みにしっかりと復習してください。

初学者コース生の方 (租税法の学習が初めての方)

①12月短答前の初学者向け講義受講の方と短答免除者の方

まずは各論点の基本部分を確実に解答できるようにすることが大切です。特に法人税は、総合問題といっても個別論点の集まりというだけであり、出題される個別論点はある程度決まっています。単に金額を転記するだけで得点できる箇所も結構ありますので、まずはこのような部分を確実に得点できるように復習してください。具体的には、下記の厳選10論点(法人税法)の項目も参考に、問題集の問題(Bレベル)が解答できることを目標にし、併せて授業内演習で復習しましょう。なお、所得税・消費税についても、法人税と同様にできるだけテキストの問題や授業内演習で復習しましょう。

法人税の基礎的問題では、6割程度を年内の到達レベルと考えてください。

[目次へ](#) 

②12月短答後の初学者向け講義受講の方

短答式試験終了後、すぐに講義が始まり週3回程度のペースで進んでいきます。各回の講義後、その講義ごとの問題集の該当問題を必ず解答するようにしてください。年内で学習する交際費等、減価償却、租税公課及び納税充当金、受取配当金は重要項目です。冬休みにしっかり復習してください。

厳選10論点の学習方法

法人税で重要と思われる10論点をあげておきます。まずは、これらの論点をマスターするように問題集や演習の復習をしましょう。

■厳選10論点：租税法（法人税法）

復習テーマ	学習の指針
交際費	支出交際費及び接待飲食費の判定、経理方法による調整、交際費把握の基本的考え方、他の経費との区分
減価償却 (普通償却)	償却限度額の計算、少額減価償却資産、一括償却、付随費用の取扱い、資本的支出
租税公課・ 納税充当金	各税金の内容及び調整方法、納税充当金、控除対象外消費税額等
受取配当金	益金不算入の対象、配当等の区分、短期所有株式等の計算、控除負債利子
所得税額控除	原則法・簡便法の計算方法とその選択

[目次へ](#) 

寄附金	支出寄附金の区分、損金算入限度額の計算、経理方法による調整
貸倒損失	事実要件、経理要件
リース取引	所有権移転リース取引、所有権移転外リース取引
評価損益	評価損の物損等の事実
グループ法人税制	資産の譲渡損益、寄附・受贈益、受取配当等、現物分配

経営学

東京水道橋校

松下 徹



短答免除者の方へ

①年内の到達レベル

テキストの範囲を一通り復習し、8月の論文式試験受験時の記憶を呼び起こしておくといよいでしょう。

②厳選10論点の学習方法

ただ漠然とテキストを読むだけではなく、「問題が解けるようになる」ということを意識しつつ、知識の整理をしてください。また、この10論点については、問題集の問題にもチャレンジし、典型問題については、解答を導く上でのポイントがスムーズに思い浮かぶように練習するとよいでしょう。

短答を受験される上級生の方へ

①年内の到達レベル

テキスト上巻のうち、講義が終了した範囲について

[目次へ](#)

て、「読めばわかる」という状態を確保してください。比較的経営学に時間が割ける方は、さらに重要箇所について、「テキストどおりではないがポイントをつかんだ表現ができる」という状態まで到達できると良いでしょう。

②厳選10論点の学習方法

計算科目（特に財務会計論、管理会計論）がまだ仕上がっていない方は、講義の復習のみ行っていただければ構いません。これに対して、計算科目が仕上がっている方は、問題集の問題にもチャレンジし、「なぜこの解答になるのか」をテキストで確認しておくとう良いでしょう。

初学者コース生の方へ

3月から経営学の論文基礎演習が始まりますので、それまでには一通り講義を受講し終えておくようにしてください。また、講義内で扱った項目のうち、問題集の基礎編に掲載されている問題については、論文基礎演習前に解けるようにしておいてください。

■厳選10論点：経営学

復習テーマ	学習の指針
投資理論	ポートフォリオ効果を示す投資機会曲線
投資理論	期待収益率（リターン）と標準偏差（リスク）の計算（2証券の場合も含む）
投資理論	資本市場線とリスクの市場価格（グラフと計算）

[目次へ](#) 

投資理論	アンシステマティックリスクとシステマティックリスク（意義と数値の算定）
投資理論	証券市場線の式と β 値の意味
企業財務論	レバレッジ効果とリスクの種類
企業財務論	MM理論（資本構成と資本コストの関係、命題1・命題2）
デリバティブ	株価指数先物取引の利益・損失（グラフ）
デリバティブ	株価指数オプション取引の利益・損失（グラフ）
デリバティブ	リスク中立確率を用いたオプションの価値の算定

経済学

東京水道橋校

平野雅之



論文式試験の学習に専念、またはある程度ウェートを置ける方へ

①年内の到達レベル

最近の本試験は、第3問（ミクロ）は大部分が標準的な計算問題ですが、素直な出題ではなく一捻りある問題が増えており、また、5行程度の論述説明問題も出題されるようになっていきます。一方、第4問（マクロ）は大部分が極めて素直な基本的・典型的な計算問題、標準的な用語穴埋め、及び2～3行の説明問題と

目次へ 

なっています。以上より、まずはミクロにウェートを置いて計算問題の基本を確実なものにすることがスタートアップとして不可欠であり、下記の厳選10論点に絞って計算と理論をマスターしましょう。

②厳選10論点の学習方法

典型的な計算問題の解法を正確に身に着けることは合格への最低条件です。ただ、数行程度とはいえ論述説明問題に対して簡潔に必要な答案を作成するためには、しっかりとした理論の裏づけの下で各論点をマスターすることが必要です。その際、せっかく練習した「計算」とは全く無関係に、一から別途「理論」対策という別の勉強をしてはいけません。数式をなるべく正確に曲線や均衡点として作図して、その背景にある理論を確認しましょう。こういう作業は直前にはできません。今のうちです。

短答式試験の準備が最優先の方へ

先に述べましたように、現在の本試験は計算問題だけ解ければ済むわけではありませんが、とりあえずは下記の厳選10論点のうち(1)~(4)、及び(10)の計算問題の解き方だけでもマスターしておきましょう。理論的な裏づけは、今後演習などで問題を解いていく中で一つ一つ積み上げていけば充分間に合いますので心配はご無用です。

■厳選10論点：経済学

復習テーマ	学習の指針
(1)家計	需要関数
(2)企業	総費用関数・供給関数

[目次へ](#) 

(3)課税	従量税・従価税
(4)独占	供給独占／差別独占
(5)複占	クールノー・ナッシュ均衡
(6)外部性	ピグー課税／協調・合併
(7)公共財	リンダール均衡（部分均衡のみ）
(8)一般均衡	純粹交換経済／厚生経済学の基本 第一定理
(9)財市場／ 貨幣市場	ケインズの消費関数・投資関数／ 流動性選好関数
(10)マクロ・モデル	45度線モデル／ ISLMモデル

民法

東京水道橋校
野附正彦



短答式試験の準備を優先される方

①年内の到達レベル

民法の本格的な学習は、演習期からとなります。年内は、テキストで基本的制度の確認をしてください。細切れの時間があれば、ポケコンを使って定義等を確認してください。

②厳選10論点の学習方法

下記の10論点は、基本的制度です。学習の指針を参考にして、意義、趣旨、要件、効果を押さえましょう。

目次へ 

論文式試験の学習に専念、またはある程度ウェイトを置ける方

①年内の到達レベル

民法の本格的な学習は、演習期からとなりますが、基礎演習が始まる3月の初旬までに、一通りの学習を終えることが理想です。そこで、基礎演習が始まるまでの時期は、民法の下地を作るつもりで、問題集の基本演習編の論証例を読んでください。理解の不十分さを感じたら、テキストに戻って問題の所在、自説の結論、理由付けを確認すると良いでしょう。

②厳選10論点の学習方法

10論点に関する出題がなされた場合は合格答案が書けるように、問題集の論証例を自分なりに理解し、覚えるようにしましょう。また、民法は事例形式で出題されますから、前提となる制度や論点、派生論点と組み合わせ出題されることがあります。そのようなときに備えて、10論点については、前提となる制度の意義、趣旨、要件、効果を押さえましょう。派生論点についても自説の結論、理由付けを確認しておく良いでしょう。

■厳選10論点：民法

復習テーマ	学習の指針
意思表示 (93条～96条)	心裡留保、通謀虚偽表示、錯誤、詐欺
代理 (99条～118条)	代理権の濫用、無権代理と相続、表見代理

目次へ 

物権総論・不動産物権変動 (177条)	物権的請求権、177条の「第三者」、不動産物権変動と登記
占有権 (180条～202条)	占有改定と即時取得、相続を契機とする自主占有取得の可否
抵当権 (370条、371条、388条等)	抵当権の効力の及ぶ範囲、抵当権侵害、法定地上権
債権の目的・対内的効力 (401条、415条、416条)	種類債権の特定、積極的債権侵害、損害賠償の範囲
債権の対外的効力・債権譲渡 (423条～426条、466条～469条)	債権者代位権の転用、詐害行為取消権、債権譲渡の対抗要件
売買の効力 (560条～570条)	契約不適合責任、目的物の滅失等による危険の移転
賃貸借の効力 (605条、612条等)	賃借権に基づく妨害排除請求、賃貸借契約の解除
不当利得 (703条～708条)、不法行為 (709条、715条、722条等)	不法原因給付、特殊的不法行為、過失相殺、請求権競合論



5月短答を受験する方へ

①年内の到達レベル

5月短答の時点では、準備不足も止むを得ません。ただ、7月の公開模試の時点では、基本的な本試験対策は終えていたところですので。そのためには、5月短答までに問題集の総合問題の3と4の復習を終わらせ、6月末までに基礎演習の復習を終わらせることが目標となります。

そこから逆算しますと、統計学に関して年内に達成すべき事項はありません。カリキュラムに沿って講義の視聴と復習を進めていただきたいと思います。

②厳選10論点の学習方法

講義を復習する中で、厳選10論点の各項目を意識してください。

5月短答を受験しない方へ

①年内の到達レベル

論文基礎演習までに、一通りの学習を終えることが理想です。そのためには、2月中に問題集の総合問題の復習を終わらせることが目標となります。

そこから逆算しますと、今の時期は多くの時間を統計学に費やし、目標達成のための足がかりを築いていただきたいと思います。



②厳選10論点の学習方法

最初は「覚えるために解く」作業も必要かと思いますが、学力が伸びるのはその後です。早く「確認のために解く」作業に移れるよう、定義と解法の正確な暗記を大切にしてください。

■厳選10論点：統計学

復習テーマ	学習の指針
確率	事後確率の算出公式
確率変数総論	確率分布、条件付確率分布、周辺確率分布、確率変数の独立性、確率変数の和の分散
離散型確率変数	二項分布の確率関数・平均・分散・再生性
連続型確率変数	正規分布の再生性・分布表、 χ^2 分布の定義・平均、中心極限定理の定義
点推定	推定量の定義、不偏性と有効性
区間推定	基本4パターンの区間推定
検定総論	検定の論理構造、記述式問題に対する解答の書き方
検定各論	各検定の検定統計量
単回帰分析	回帰係数のt検定に至るまでの一連の手順
重回帰分析	回帰係数のF検定、自由度修正済決定係数、重相関係数、ダミー変数